

# 岐阜県立岐阜工業高等学校

学校長 山田 和 正  
学校住所 岐阜県羽島郡笠松町常盤町 電話058-387-4141

- 1 会の名称 学校を考える会
- 2 会の構成
- |     |       |                  |
|-----|-------|------------------|
| 委 員 | 岩佐 洋二 | 株式会社 岡本 常務       |
|     | 大橋 仁壽 | 株式会社 大垣鐵工所 取締役社長 |
|     | 羽賀 和子 | 地域住民代表(元育友会副会長)  |
|     | 柴田 正義 | 名古屋鉄道株式会社 笠松駅長   |
|     | 前田 勸次 | 地域住民代表(元育友会会長)   |
- (委員名は五十音順)
- |       |       |         |
|-------|-------|---------|
| 準 委 員 | 川瀬 明久 | 育友会 会長  |
|       | 竹腰 功  | 育友会 副会長 |
- 学 校 側
- |       |       |       |        |
|-------|-------|-------|--------|
| 山田 和正 | 校長    | 林 忠弘  | 教務主任   |
| 平井 正春 | 副校長   | 近藤 益則 | 生徒指導主事 |
| 日比野政則 | 事務部長  | 牧村 高憲 | 進路指導主事 |
| 戸崎 晴雄 | 教頭(全) | 川嵐 俊夫 | 工業部長   |
| 上原 憲一 | 教頭(全) |       |        |
| 渡邊 克尋 | 教頭(定) |       |        |
- 3 会の目的 学校運営等について学校外の有識者等から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資するとともに、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを目指す。そのため、岐阜県立岐阜工業高等学校に学校評議員を置く。
- 4 会の開催 平成19年11月10日(土) 10:00~13:30 岐阜工業高等学校 校長室  
委員2人と学校側7人が出席
- 5 会の概要

## 主テーマ 工業高校に期待するもの

### 文化祭の見学

各クラス・学科・文化系部活動の発表を見学し、育友会のバザーを楽しんでいただきました。各会場では、生徒の説明に熱心に耳を傾けていただき、予定時間を大幅に上回りました。

- 感想 1 専門学科の特徴を活かした発表が多く、楽しめた。岐阜工業高校における今風の生徒の取り組みを知ることができた。
- 感想 2 実際にそのまま世の中に出しても恥ずかしくないレベルの作品が多く、日本のトップクラスの工業高校としての技術の高さを知ることができた。

### 学校の教育現状について 報告

教育実践 学校長より 第1回評議員会を受けての改善策、諸活動の報告  
外部評価 教頭より 全日制・定時制 集計結果と分析、今後の課題  
特別活動部 文化祭の取り組みについて

- 意見 1 会社はプロであるから、素晴らしいものを作るのは当たり前である。しかし、高校生の年代で、これだけの技術・技能を身につけ、企業活動レベルに匹敵する「作品化する活動」は、価値があるものである。
- 意見 2 テクノボランティア活動を通して、「自分達の技術が世の中に役立っている」と知ることは、社会人への第一歩としてとても大切である。この心を大事に育てて欲しい。
- 意見 3 長年、岐阜工業高校と関係しており、生徒の技術レベルが高いことは知っていたが、実際の活動や作品を目にして、改めて岐工の技術力に感心した。これからも次世代工業技術者の育成に努めて欲しい。

工業高校に期待するもの
-------------

- 意見 1 夢を持って仕事をし生きていくことは、本人によるところだけでなく、企業の責任でもあるといわれている。また、モチベーションをあげるためには、経営者がその環境を作ることが大切である。学校においても、頑張りというだけでなく、夢を与えられるような仕組みを作っていくことが大切である。
- 意見 2 現代の若者の一部は、責任あるポジションにつけた結果、賃金が上がるといったことに、それほどの魅力を見いださないようである。現状にとりあえずの満足感を持ってしまっている。若いが故に、親とも連携し一緒になって、子供の資質を向上させる努力を怠ってはいけない。
- 意見 3 資格を取得することは、本人だけでなく、企業にとっても有益なことである。岐阜工業高校では資格取得に力を入れているそうだが、将来の技術者を目指す高校生の育成機関として、これからも推進して欲しい。
- 意見 4 技能の伝承は企業にとって重要な課題となっている。一方で、3Kといわれた仕事にも、自ら積極的に就きたいという若者も出てきている。工業の原点を理解して、自分の手でものづくりをする楽しみを伝えていきたい。工業高校生に期待している。
- 意見 5 素直な人間は、企業での力は伸びが大きい。また、後輩をつけることでも、力を伸ばすことができる。それは、可愛がられる・教えてもらえる、慕われる・教える・互いに競い合うことで、自然に力がついていくからである。
- 意見 6 社員は、企業の顔である。作業員への安全対策も含めて、服装や頭髪にも気を配るように指導している。岐阜工業高校は心配ないと思うが、身なりを正す指導をしていただきたい。

#### 会のまとめ

- ・企業の経営に携わる方の目から見ていただいた本校の取り組みにたいする意見や、企業の抱える問題をふまえての本校への示唆をいただき、本校の教育の進む道を見つけることができました。
- ・社会人へつながる学校だからこそ、「ものづくりをとおして人づくりをする」という観点で、ねばり強い指導を継続していくことの大切さを痛感した。
- ・本校の文化祭日程に合わせたため、会の討論時間には、参加いただけなかった委員もおられたことを残念に思います。しかし、生徒達の頑張った姿や素晴らしい作品を見ていただけたことをうれしく思います。